

SX-3640リリースノート

バージョン	リリース	■:機能追加 □:仕様変更 ●:不具合修正他	内容
5.1140	2016年01月27日	●	1年以上稼働させたSX-3640の統計情報を参照すると、当月の統計情報に1年前のデータが含まれてしまう不具合を修正
5.1130	2015年09月04日	●	実サーバのコネクションカウンタが不正な値となる不具合を修正 SSLセッションIDによるセッション維持設定を行っている条件にてクライアントより、Client Helloパケットの再送が行われる状態となった際に稀なタイミングでカウンターが最大数(約42億)となってしまう 実サーバに最大コネクション数の設定(maxconns)又はバランシングアルゴリズムの設定を最少コネクション(load)に設定している場合にカウンタ異常となったサーバにバランシングが行われない事象となる
5.1120	2015年06月11日	●	VRRPタイマ動作が誤動作し、予期せずMasterに遷移してしまう不具合を修正 発生条件 異なるVRIDを受信する環境において下記の時刻修正が行われた際に発生 ・dateコマンドを使用し、手動でシステム時計を3.6秒を超える修正をした場合 ・ntpサーバとの同期によりシステム時計が、step調整で3.6秒を超える修正が行われた場合
5.1110	2013年07月09日	●	UDPセッション同期不具合修正 冗長構成でフェイルオーバーした後、セッション数が最大値になってしまう
5.1100	2013年03月26日	●	キーブライブパケットの不具合修正 キーブライブパケットのシーケンス番号とACK番号が逆にセットされていた
5.1090	2012年11月20日	●	TCP処理の不具合修正 パケットが512個以上に分割されると、送信処理が出来なくなる
		●	SSLセッションID設定時の不具合修正 SSLセッションIDを使用したセッション維持を行うと、クライアントMACアドレスがサーバMACアドレスになる場合がある
5.1080	2012年6月1日	●	URLスイッチ設定時の負荷分散不具合修正 URLスイッチを設定しバインド登録を繰り返した場合に設定していないサーバへ負荷分散してしまう事がある
5.1070	2012年1月23日	□	負荷分散アルゴリズム改善
		●	SSL脆弱性対応(CVE-2009-3555)
5.1060	2011年6月29日	■	GoogleChrome対応(False-Startプロトコルに対応)
		●	ソースIPアドレス登録不具合修正 128件以上登録出来ない不具合を修正、512件に拡張
		●	ポート0の仮想サーバ統計情報が表示されない不具合
		●	不正なログが出力される不具合修正 Server value is Invalid.のログが出力される
5.1050	2011年1月1日	■	FTP使用時にNAT機能が使用できる様に機能追加
		□	garp再送のデフォルト設定値の変更 garp再送しない設定をデフォルトにした
		●	syslog不具合修正 他の装置のsyslogが表示されてしまう
5.1040	2010年7月1日	■	フェイルオーバー時のgarp再送の可否を設定追加
		□	テスト用証明書の有効期限延長
		●	異常データ受信時の不具合修正 コネクション確立直後の異常データ受信時に再起動してしまう
		●	サーバダウン検出時の不具合修正 サーバダウン検出時にクローズしたコネクションが大量にあると再起動してしまう
		●	セッション維持動作の不具合修正 データが多いと再起動してしまう場合がある
5.1030	2010年2月1日	■	SSLヘルスチェック機能追加
		■	冗長構成時の情報共有設定 起動後、ACTIVE側よりそれまでのセッション情報を共有『する』『しない』を選択可能にした
		□	LANポートフロー制御のデフォルト値変更
		●	ヘルスチェック設定の不具合
5.1020	2010年1月1日	●	Exceptヘッダ受信時に通信停止する場合がある不具合
5.1010	2009年12月1日	■	監視専用ポート機能
		■	MDI/MDI-X設定機能追加
		●	特定の条件でSSLアクセラレート機能が動作しない不具合
		●	Exceptヘッダ受信後に次のデータが破棄される場合がある不具合
5.0030	2009年7月1日	●	HTTP TRACEに回答してしまう不具合
5.0020	2009年3月1日	-	新規リリース

※リリース日は出荷日と異なりますので、製品のversion確認をお願い致します。